



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社ゴールドウィン 上場取引所 東
コード番号 8111 URL <https://www.goldwin.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 渡辺 貴生
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 白崎 道雄
管理本部長 TEL 03-6777-9378
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	99,472	2.7	18,717	10.5	21,617	△1.2	15,251	△13.8
2025年3月期第3四半期	96,833	2.1	16,939	△11.7	21,885	△7.2	17,695	0.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 15,730百万円 (△11.4%) 2025年3月期第3四半期 17,760百万円 (△9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	111.17	—
2025年3月期第3四半期	131.41	—

※2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	165,710	119,320	71.6
2025年3月期	150,877	111,203	73.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 118,569百万円 2025年3月期 110,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	123.00	163.00
2026年3月期	—	87.00	—		
2026年3月期（予想）				29.00	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2026年3月期の中間配当金87円には、創業75周年記念配当10円が含まれています。
3. 2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、2026年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。2026年3月期の期末配当金を仮に当該株式分割前に換算しますと87円、年間配当金合計は174円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 140,500	% 6.2	百万円 25,900	% 18.2	百万円 33,900	% 10.0	百万円 25,400	% 3.9	円 銭 189.11

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は567円32銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 （社名）アルパインツアーサービス株式会社、GOLDWIN LONDON LIMITED

除外 2社 （社名）北京奥冠英有限公司、高得運（北京）服装商貿有限公司

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	142,344,516株	2025年3月期	142,344,516株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	5,341,785株	2025年3月期	9,352,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	137,190,354株	2025年3月期3Q	134,664,918株

※2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境には持ち直しの動きが見られたものの、物価上昇の継続により生活防衛意識が強まり、個人消費は選別傾向が継続しました。スポーツアパレル業界においては、都市部を中心としたインバウンド需要が一定の下支えとなりました。また、10月から11月にかけては気温低下が例年よりも早く、秋冬物の立ち上がりは概ね堅調に推移しました。

その後、期後半にかけてはブラックフライデー等のセール施策により冬物商材の購買タイミングが前倒しとなり、販売のピーク時期が早期化しました。さらに、12月に入ってから暖冬基調を背景に各社でクリアランスの前倒しが進み、需要獲得に向けた競争が一層激化する等、販売環境は厳しさを増しました。これらの結果、販促強化や価格訴求の差によって、商品カテゴリや価格帯による販売状況の差が拡大しました。

こうした環境下、当社においては、インバウンドを中心とした来店・購買動向、重衣料を含む商品カテゴリ別の需要動向という二つの側面で影響がありました。

まず来店・購買動向の影響としては、直営店におけるインバウンド売上のうち中国大陆からの売上は、11月までは前年同期を上回って推移したものの、12月に入ってから前年同期比減となったことにより、都市部店舗を中心に来店客層の変化や購買単価の低下が生じました。

次に商品カテゴリの動きとしては、消費者のスタイル選好の変化等を背景に、ショート丈のダウンジャケットが合わせやすいスタイルとして支持されました。THE NORTH FACEの定番ダウンジャケットの中でも、ヌブシジャケットは前年同期比で2桁の伸長となりました。一方、定番ダウンの一部では前年同期比を下回る商品も見られ、同一カテゴリ内でモデル別の売れ筋の偏りが生じた結果、直営店を含む主要チャネルの一部において商品の投入に対する消化が弱含んだ局面が生じました。

フリース等の中間着アイテム類やレイヤリング需要に対応したアイテムは、12月に入ってから暖冬基調の影響があったものの底堅く推移しました。加えて、ギア類についてもウインターシーズンの到来に伴うスキー関連アイテムの需要拡大が下支えとなり、売上高は前年同期比で増収を確保しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は99,472百万円（前年同期比2.7%増）となりました。売上総利益は調達段階での原価設計の適正化、選択的な価格改定、在庫消化の進展が寄与し、53,210百万円（前年同期比5.6%増）となり、売上総利益率は53.5%（前年同期比1.5ポイント上昇）となりました。

販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、賃借料ならびにその他事業運営コスト等が増加し、34,493百万円（前年同期比3.1%増）となりました。これらの結果、営業利益は18,717百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

一方、持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationにおいては、売上高が前年同期比で増収基調を維持したものの、為替変動およびコスト上昇等の外部環境の影響により減益となりました。この結果、当社の持分法による投資利益は2,751百万円（前年同期比39.5%減）となり、経常利益は21,617百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は15,251百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ14,832百万円増加し、165,710百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加5,102百万円、電子記録債権の増加4,329百万円、商品及び製品の増加2,965百万円があったためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6,715百万円増加し、46,389百万円となりました。これは主に、株式給付引当金の減少4,993百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加5,079百万円、電子記録債務の増加4,238百万円、借入金の増加1,628百万円があったためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8,117百万円増加し、119,320百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加5,705百万円、自己株式の減少2,022百万円があったためであります。その結果、自己資本比率は71.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2025年5月14日公表の通期業績予想を据え置く方針です。今後も市況や業績動向を注視し、必要と判断した場合には速やかに修正を開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,526	47,712
受取手形、売掛金及び契約資産	14,118	19,220
電子記録債権	5,419	9,748
商品及び製品	17,884	20,850
仕掛品	372	165
原材料及び貯蔵品	962	913
その他	2,157	4,717
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	93,438	103,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,604	2,542
土地	4,679	4,679
その他（純額）	3,540	7,523
有形固定資産合計	10,824	14,745
無形固定資産		
商標権	626	418
のれん	—	148
その他	2,181	2,542
無形固定資産合計	2,808	3,110
投資その他の資産		
投資有価証券	33,014	35,222
差入保証金	3,201	3,405
その他	7,679	5,990
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	43,805	44,530
固定資産合計	57,438	62,385
資産合計	150,877	165,710

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,294	9,373
電子記録債務	15,915	20,153
短期借入金	—	620
1年内返済予定の長期借入金	354	—
未払法人税等	1,993	1,375
賞与引当金	857	550
役員賞与引当金	—	76
株式給付引当金	4,993	—
その他	8,982	9,356
流動負債合計	37,391	41,506
固定負債		
長期借入金	—	1,362
株式報酬引当金	—	51
退職給付に係る負債	186	195
その他	2,095	3,272
固定負債合計	2,282	4,883
負債合計	39,674	46,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	1,578	1,578
利益剰余金	113,468	119,174
自己株式	△15,838	△13,815
株主資本合計	106,289	114,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,771	3,002
繰延ヘッジ損益	△5	86
為替換算調整勘定	2,418	1,478
退職給付に係る調整累計額	△90	△16
その他の包括利益累計額合計	4,093	4,552
非支配株主持分	820	751
純資産合計	111,203	119,320
負債純資産合計	150,877	165,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	96,833	99,472
売上原価	46,439	46,261
売上総利益	50,393	53,210
販売費及び一般管理費	33,454	34,493
営業利益	16,939	18,717
営業外収益		
受取利息	13	34
受取配当金	103	109
持分法による投資利益	4,548	2,751
その他	372	121
営業外収益合計	5,039	3,017
営業外費用		
支払利息	22	49
保険解約損	19	8
解約違約金	—	17
その他	50	42
営業外費用合計	93	117
経常利益	21,885	21,617
特別利益		
投資有価証券売却益	—	143
関係会社株式売却益	0	—
その他	0	—
特別利益合計	0	143
特別損失		
固定資産処分損	34	159
店舗閉鎖損失	14	137
事業撤退損	100	—
その他	17	0
特別損失合計	166	297
税金等調整前四半期純利益	21,719	21,462
法人税、住民税及び事業税	4,025	4,418
法人税等調整額	△28	1,771
法人税等合計	3,997	6,190
四半期純利益	17,722	15,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,695	15,251

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	17,722	15,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	1,231
繰延ヘッジ損益	71	92
為替換算調整勘定	△241	△132
退職給付に係る調整額	72	72
持分法適用会社に対する持分相当額	159	△805
その他の包括利益合計	37	458
四半期包括利益	17,760	15,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,733	15,710
非支配株主に係る四半期包括利益	26	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の自己株式は、2025年11月6日の取締役会決議に基づく自己株式の取得及び「株式給付信託（従業員持株会処分型）」の再導入に伴う当該信託の当社株式の取得により増加したものの、「株式給付信託（J-ESOP）」の終了に伴う信託内自己株式の従業員に対する給付及び株式給付信託を通じた従業員に対する給付による減少がありました。

これらにより、自己株式は当第3四半期連結累計期間において2,022百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末は13,815百万円となりました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,628百万円	1,772百万円
のれんの償却費	—	12